

これからのまちの台所事情〔2〕

前のページの「経常収入」と「経常経費」を並べてみると、なぜ財政状況が苦しいかが、わかります。

下のグラフの見方を参考に、平成19年度までの財政収支の見通しをみると、自由に使えるお金が減っていくのです。

それじゃあこれからどうなっていくのかしら？



(表の見方)

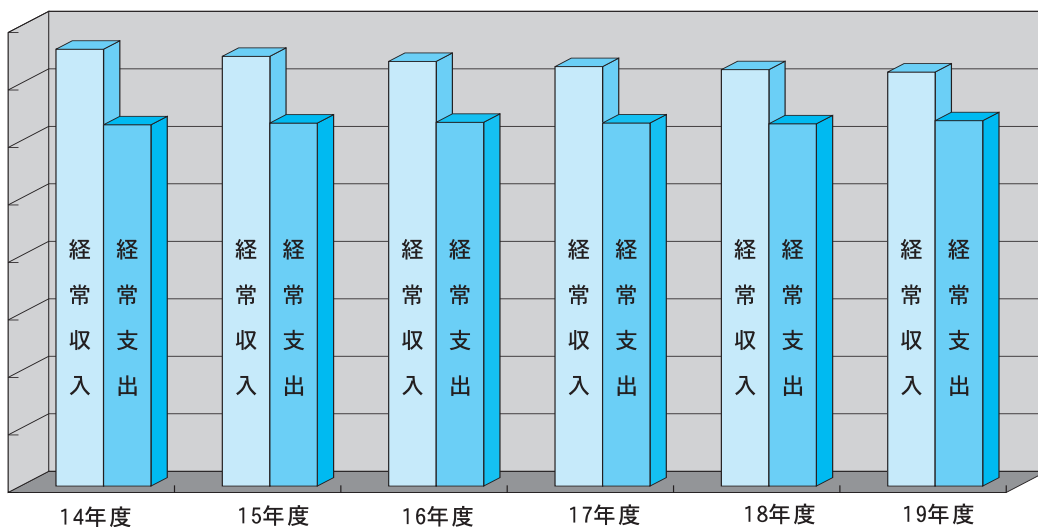
経常収入 (毎年見込める固定収入く町税、地方交付税など)	↑	経常支出 (毎年支出が見込まれる経費く人件費、公債費など)
---------------------------------	---	----------------------------------

この部分が大きければ、その分色々なことにお金を使えることになります。

(参考)

$(\text{経常支出}) \div (\text{経常収入})$ が「経常収支比率」といわれ、町村にあつては75%程度(市にあつては85%程度)が健全なラインといわれています。

平成13年度の芽室町の経常収支比率は77%でしたので、財政構造の弾力性が失われつつあるといえます。



そうだね、我が家でも住宅や車のローンや子どもの教育費を減らすことにはならないし、自由に使えるお金が減ると、定期預金を解約したりこづかいや食費を節約したりして、やりくりしなきゃならないもんなあ。

それにしても金額が大きくて、ピンとこないわ。

